

臨床研究に関するお知らせ

当院では、倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しております。

このお知らせは「オプトアウト」、すなわち国が定めた倫理指針に基づき研究の目的を含め、研究の実施についての情報を公開し、既存のデータを用いた研究において、患者さんの拒否できる機会を確保するため、研究の公開を当院のホームページ上で一元的に行っているものです。

研究名

嚥下障害に対する電気刺激装置

研究対象となる方

電気刺激装置導入後の2023年4月～2023年8月に当院に入院し装置を導入した嚥下障害患者及び、電気刺激装置導入前の2022年4月～2022年8月に当院に入院しリハビリ介入した嚥下障害患者。

研究の目的と意義

超高齢社会において、経口摂取を維持するには、急性期病院においても嚥下診療を行い、慢性期病院に転院後も経口摂取できるように適切に関与する必要がある。急性期病院は、ベッドから動けない重症患者が多く入院期間も短い。ベッドサイドで簡便に行えて即時効果が期待できる手法でアプローチする必要がある。今回、嚥下リハビリ介入前後での嚥下機能評価を行い、電気刺激装置が用いられていない昨年度と用いられている今年度でリハビリの効果に差が出るかを観察し、当院でのリハビリ内容を検討する目的で研究を行った。

【目的】

我々は電気刺激装置を嚥下リハビリに導入し、導入前と比較して経口摂取量や形態、嚥下機能に改善があるかを評価した。

方法と研究期間

- ・電気刺激装置は各患者1日1回30分、5回/週(平日毎日)で実施。
- ・摂食嚥下重症度評価はFOISで行った。
- ・電気刺激装置を導入した嚥下障害患者(電気刺激群)と電気刺激装置導入前の嚥下障害患者(対象群)を比較検討した。研究期間は2022年4月～8月と2023年4月から8月。

【調査項目】 ・治療内容

個人情報保護に関する配慮

本研究では、情報は匿名化され、個人が特定されることはありません。また、個人が特定されるような情報は一切公表いたしません。上記の研究対象に該当する患者さんで、「自分のデータは使わないでほしい」というご希望がある方は、施設の担当医、もしくは以下の連絡先にご相談ください。なお、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。

本研究に関する問い合わせ先

【研究責任者】

石川県立中央病院 耳鼻咽喉科 小川真智子

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

石川県立中央病院 耳鼻咽喉科 小川真智子

TEL:076-237-8211 / FAX:076-238-2337